

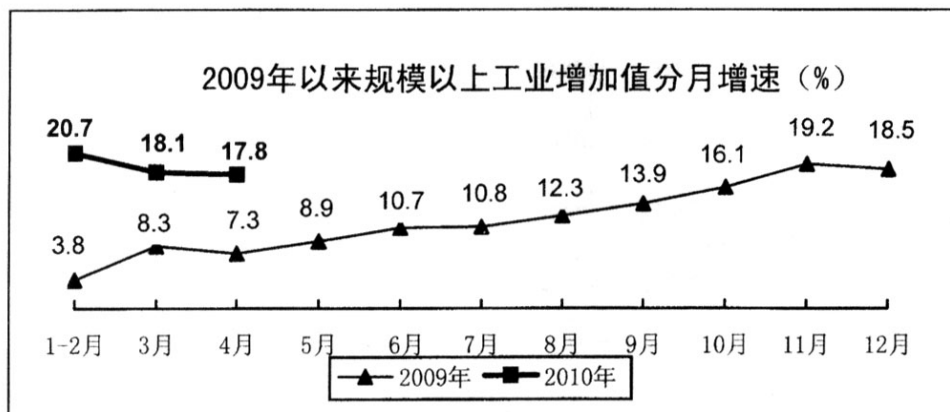
一. 工業 & 情報化運営によるデータベース

1. 工業における経済運営分析

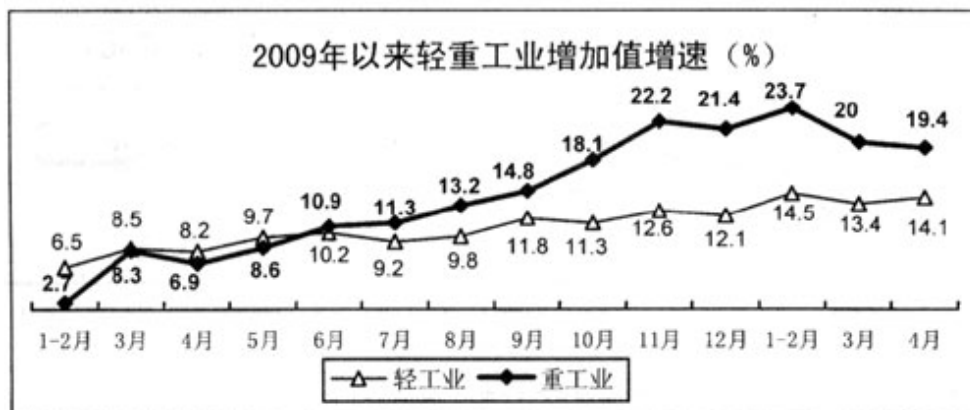
2010年1-4月工業経済運営の全体的動向

4月度、工業生産は昨年同期に比べやや低めのペースでありながらも高い伸びを維持しているが、重工業の伸びにはやや陰りがでている。製品の輸出は引き続き回復しており、徐々に世界的な金融危機以前の水準に戻りつつある。原材料、燃料、動力の購入価格は相変わらず急速な値上がりの傾向にあり、企業の生産コストへの圧力がさらに高まってきている。工業経済運営の主な特徴は次の通りとなる。

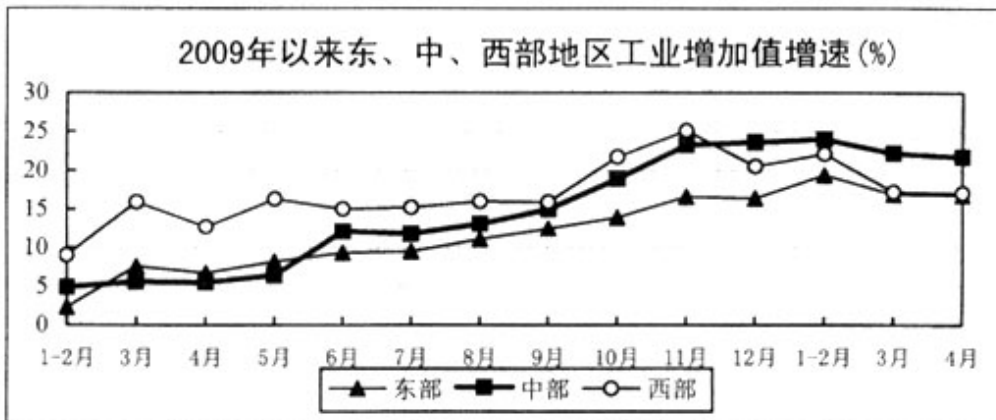
4月度の全国の規模以上(年間売上高が500万元以上)企業の生産付加価値は17.8%増、前月比で0.3ポイント下がっている。1-4月では規模以上工業企業の生産付加価値は同期比で19.1%増、伸長率は同期比で13.6ポイント上昇している。昨年同期のベースが低めだったことを考慮し、一昨年同期を基準期間とした場合、この2年間での1-4月平均伸長率は12.1%となる。



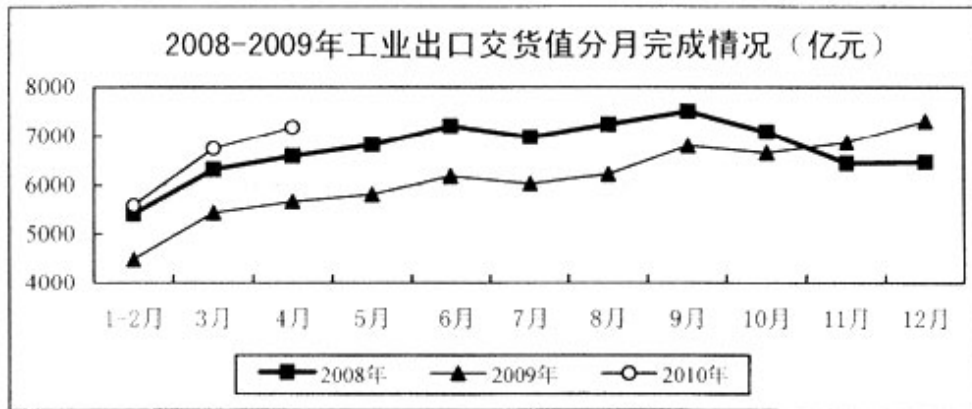
重工業の伸びにやや陰り、軽工業のオペレーションは加速。4月度の軽工業(規模以上企業、以下同様)の伸びは14.1%、前月に比べ0.7ポイント上がっている。重工業の伸びは19.4%、前月からは0.6ポイント下がっている。1-4月では軽、重工業の生産付加価値はそれぞれ14.1%と21.4%で、一昨年同期を基準期間とすると、この2年の1-4月期での平均伸長率はそれぞれ10.5%と14.8%になる。規模以上工業企業の生産付加価値における比重では、軽工業が昨年同期の31.3%から29.2%にダウン、重工業が68.7%から70.8%にアップしている。



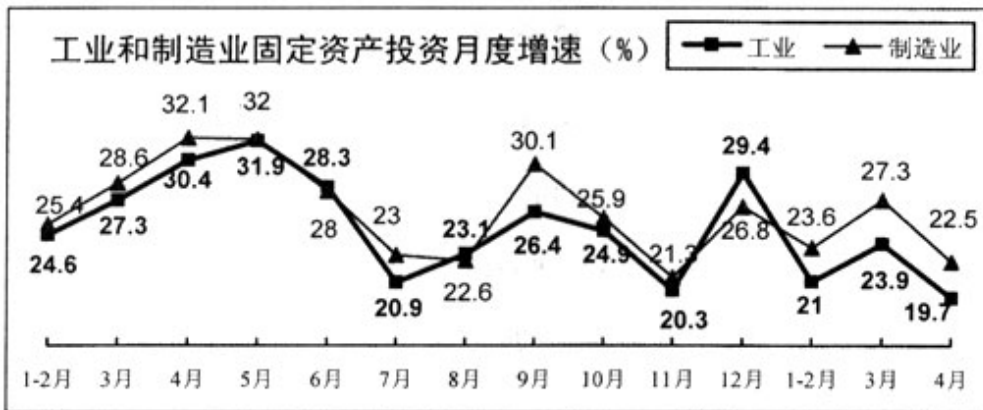
東・中・西部地区の伸びにやや陰り。4月度の東部、中部、西部地区の规模以上工業企業の生産付加価値はそれぞれ 16.8%、21.7%、17.1%増えており、前月からは 0.1、0.5、0.2 ポイント落ちている。全国 24 省の规模以上工業企業の伸長率では 20%を超えている。1-4 月では東部、中部、西部地区の伸長率は 18%、22.6%、19%に達しており、同期比で 13.7、16.5、7.2 ポイント上昇している。工業の盛んな主要な省の中では、遼寧、江蘇、山東、河南で 1-4 月の伸長率がそれぞれ 20.9%、20.4%、20.9%、27.4%となり、一昨年同期を基準期間とすると、この 2 年の 1-4 月平均伸長率はそれぞれ 16.1%、15.8%、15.1%、15.2%となる。また上海、浙江、広東の伸長率は 27.4%、21.6%、17.6%で、一昨年同期を基準期間とすると、この 2 年の 1-4 月平均伸長率はそれぞれ 8%、8%、9.6%となっている。



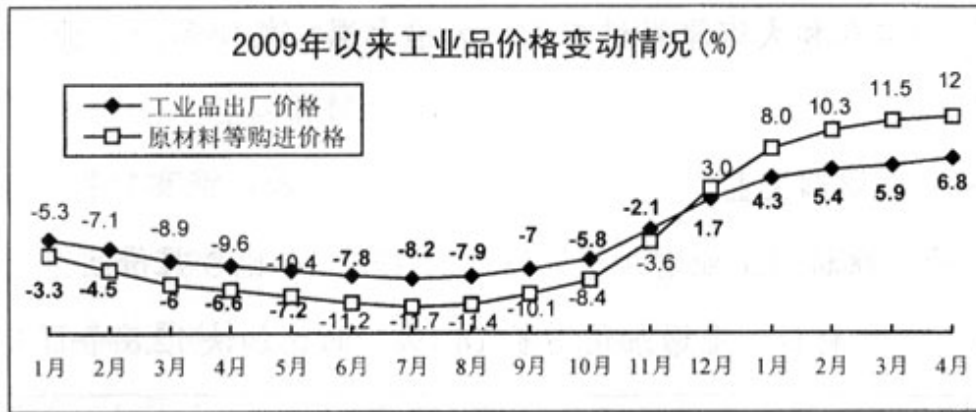
工場品輸出は引き続き回復。4月度の规模以上工業企業の輸出取引高は同期比で 27.5%増、前月からは 1.7 ポイント上がっている。1-4 月では輸出取引高が同期比で 26.5%増、一昨年同期比 6.6%増となっている。また税関当局の統計によれば、1-4 月の中国の対外貿易輸出額は 4360 億米ドルとなっており、同期比 29.2%増で、そのうち 4 月度での伸びは 30.5%、サイクル比で 7%増となっている。



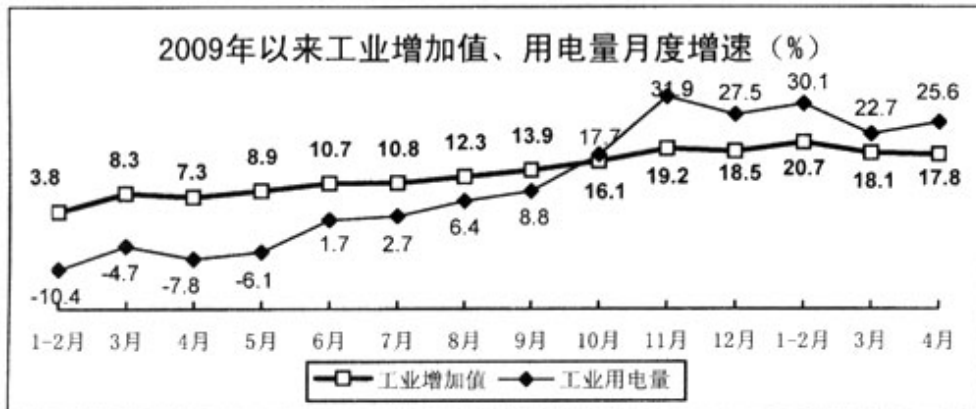
工業投資は緩やかな伸び。1-4月の完了済み工業投資額は1兆9095億元、同期比で21.6%増(4月単月では19.7%)、昨年同期に比べて6.1ポイント落ち込んでいる。このうち製造業での投資額は1兆4800億元、伸長率24.6%となっている(4月度は22.5%増)。



生産者物価指数(PPI)の上げ幅は引き続き拡大。4月度の生産者物価指数(PPI)は同期比で6.8%増となり、上げ幅は前月から0.9ポイント拡大している。そのうち生産財、消費財が同期比でそれぞれ8.5%と1.4%上昇している。また原材料、燃料、動力の購入価格指数は同期比で12%アップとなり、このうち、動力系の価格指数が24%上がっている。4月度の生産者物価指数及び原材料・燃料・動力の購入価格指数のサイクル比はそれぞれ1%と1.3%になっている。



工業用電力消費の上げ幅は縮小。中国電力企業連合会の統計によると、4月度の社会全体での電力消費量は同期比で23.1%増となっており、そのうち工業用電力消費が同期比25.6%増、第1四半期と比べて上げ幅は2ポイントダウンしている。軽、重工業用電力消費の伸びはそれぞれ12.3%と28.7%で、第一四半期と比べると1.7ポイントと1.9ポイント下がっている。1-4月期では社会全体の電力消費量が同期比23.9%増で、そのうち工業用電力消費が27%増、工業用のなかでは重工業用の比重が昨年同期の81.9%から83.8%に上がっている。

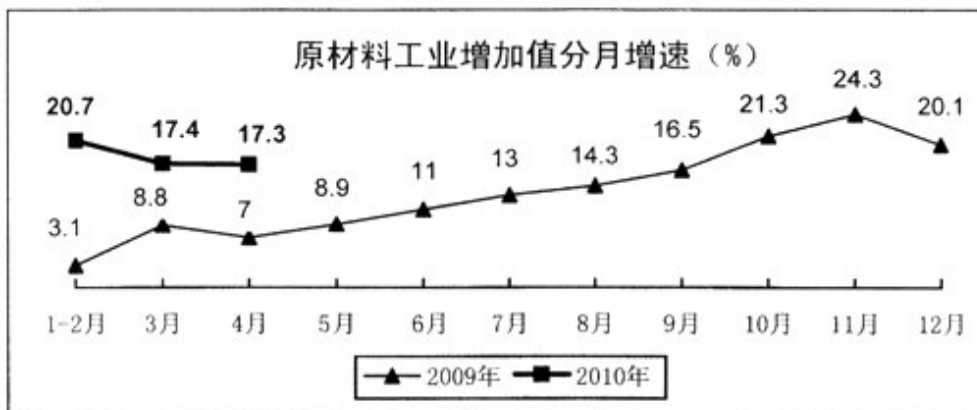


生産と販売の連携は良好。4月度の全国の工業製品販売率は98.4%、同期比で0.7ポイント上がり、前月から0.6ポイント上昇している。このうち中・軽工業、重工業での工業製品販売率はそれぞれ97.9%と98.5%である。1-4月の工業製品販売率は97.7%、同期比で0.5ポイント上がっている。

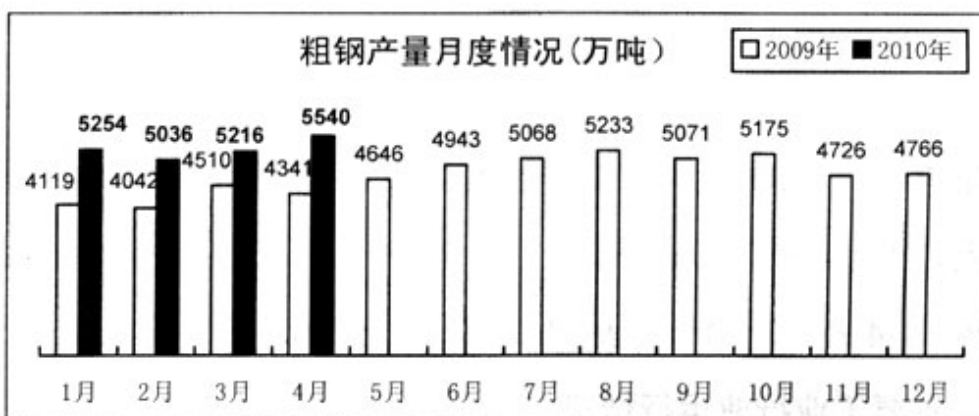
(関連統計データについて、注記していないもののうち輸出入関連データは税関の統計データ、その他は国家統計局のデータもしくは国家統計局のデータによる推算である。)

2010年1-4月期工業経済運営状況の一：原材料工業

4月度、原材料工業での生産付加価値は同期比 17.3%増となり、3月度から 0.1 ポイント落ちている。1-4 月期では、原材料工業での生産付加価値は 18.1%増、同期比で 12.8 ポイント上昇している。



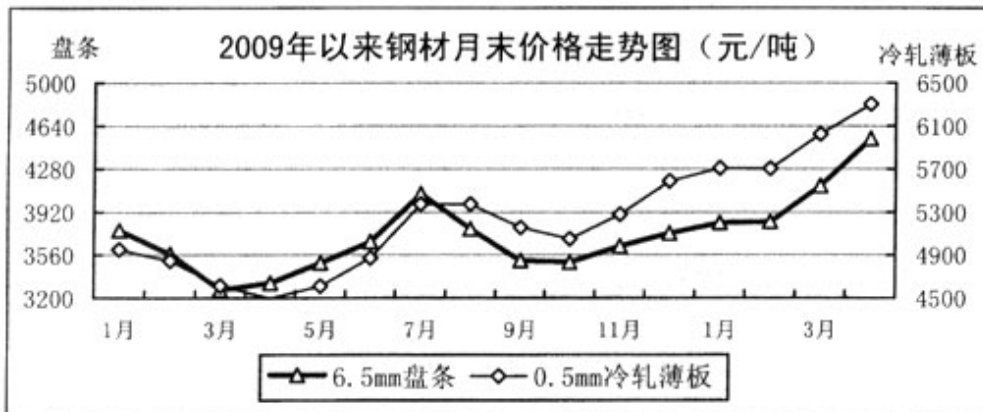
冶金: 当月の生産付加価値は同期比 21.8%増で(去年同期は 0.3%ダウン)、前月比では 2.4 ポイント上昇している。粗鋼生産量は 5540 万トンで 27%増、日平均生産量は 185 万トンで第 1 四半期より 5.2%上がっている。1-4 月では、冶金業界の生産付加価値は同期比で 21.5%増、伸長率では同期比で 20.5 ポイント増えている。また全国の粗鋼生産量は 2.14 億トンで同期比 25.4%増、日平均の生産量では 178 万トンとなっているが、換算すると粗鋼年生産 6.5 億トンに相当し、昨年 1 年間の水準と比べ 8000 万トン増えている。



鋼材輸出は引き続き増加。4 月度の鋼材の輸出は 431 万トン、同期比で 205.2%増である。鋼材の輸入は 150 万トンで 7.4%下落している。鋼材、鋼片の輸出入を合わせての粗鋼純輸出高は約 293 万トン(去年同期の純輸入高は 88 万トン)となり、前月から 120 万トン増えている。1-4 月では、累計の鋼材輸出が 1302 万トン、鋼材輸入が 561 万トン、同期比で 98.8%と 15.7%の伸びとなっている。

鉄鉱石輸入はやや反落、鉱物粉末価格は高値推移。4月度の鉄鋼砂輸入は5533万トンで同期比2.9%減となり、前月から368万トン減少している。青島港での63.5%インド鉄精鉱粉の価格が半月ばに1335元/トン前後の最高値を記録したが、前年度末からすると445元上がり、月末にやや落ち着いて、4月30日時点では1320元/トンとなっている。1-4月では、累計での鉄鉱砂輸入が2.1億トン、同期比で11.6%増となり、輸入金額は211億米ドルで、42%増である。

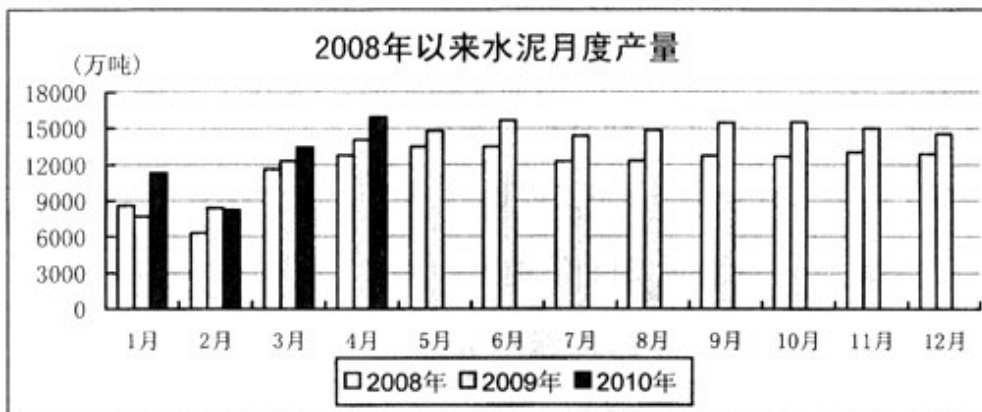
鋼材はこの半年間の価格高騰に終止符、4月中旬の最高値から反落。4月30日時点の鋼材総合価格指数は125.98となり、4月中旬の最高値からは0.42ポイント下がったが、前月末と比べると9.17ポイント上昇している。鋼鉄工業協会の統計によれば、月末で、6.5mm普通線(普通圧延機で製造した線材)、16mmデフォーム鉄筋、10mm中厚板の価格(トン当たり)はそれぞれ4533元、4533元、4986元となり、サイクル比では9.5%、8.8%、9.7%の上昇している。熱間圧延鋼薄板と冷間圧延鋼薄板の価格(トン当たり)は5119元と6302元で、サイクル比で9.5%と4.6%と上がっている。



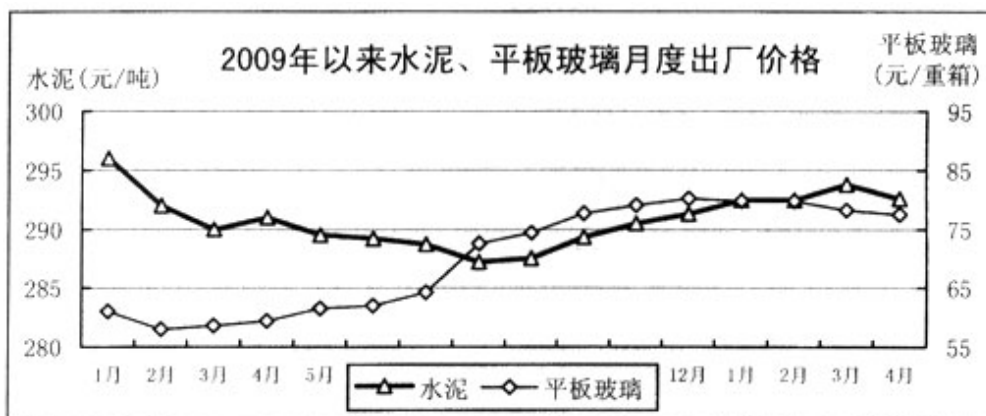
鋼材在庫は引き続き落込み。据鉄鋼工業協会の統計によれば、4月末までの主要26都市における鋼材の全体在庫高は1543万トン、3月末と比べ10.8%ダウンし、各種鋼材在庫も下落し続けている。

建材:当月の生産付加価値は19.8%増、前月から0.6ポイント減退した。建材工業連合会の統計では、セメントの生産量は15951万トン、同期比で16.3%伸長、板硝子の生産量は5267万換算箱、上げ幅は11.5%。1-4月、建材業界の生産付加価値は20.9%増。建材工業連合会の統計によれば、セメント生産量49347万トン、同期比19%伸長、板ガラスの生産量は20616万換算箱(中国で用いられる板ガラスの計量単位。厚さ2mm、比重2.5の板ガラス10平方メートルの重

量(約 50kg)に相当)伸長率は 13.4%である。

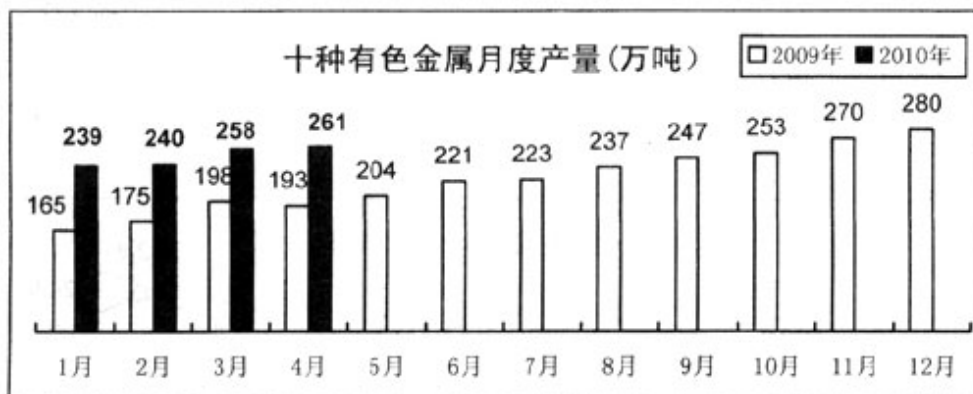


セメント、板ガラスの価格は小幅で反落。 建材連合会の統計によれば、4 月度の重点建材企業におけるセメント平均生産者価格は 292.6 元/トン、3 月に比べて 1.2 元/トン落ちており、昨年 8 月以降の価格高騰以降、初めての復調となった。板ガラスの平均生産者価格は 77.5 元/換算箱で、3 月度に比べて 0.7 元/換算箱下がっている。また 4 月末の重点建材企業におけるセメント在庫は 1705 万トンで、同期比 41.9%増、板ガラスの在庫は 1727 万換算箱、8.6%減少している。

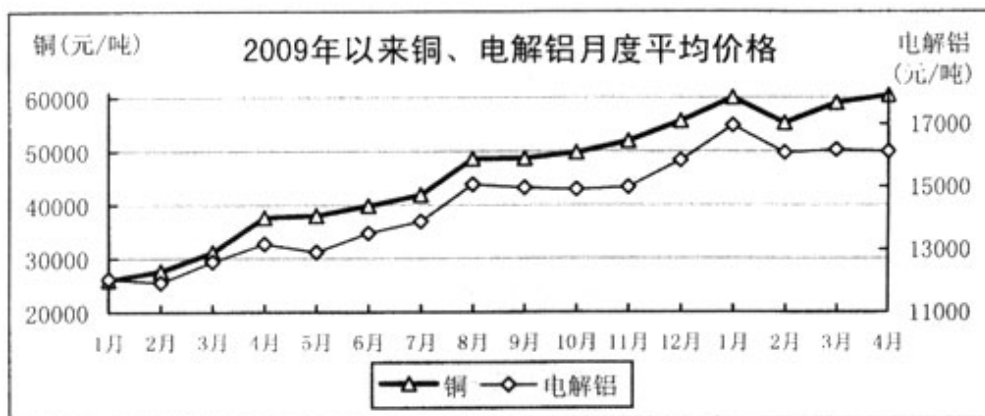


非鉄金属: 当月の生産付加価値は同期比 20.1%増、前月からは 0.6 ポイント下がっている。10 種の非鉄金属生産量は 261 万トン、同期比で 34.1%伸長、日平均生産量は 8.7 万トンとなり、第 1 四半期と比べると 5.2%増えている。電解銅の生産量は同期比で 15.2%増、電解アルミの生産量は 57.4%増、酸化アルミニウムの生産量は 52.3%増である。1-4 月では、非鉄金属業界での生産付加価値は 22%増で、同期比では 18 ポイントのアップ。10 種非鉄金属の生産量は 1008 万トンに達し、伸長率は 35.9%。そのうち電解銅の生産量が 146 万トン、電解アルミが 537 万トンで、同期比はそれぞれ 16%と 51.3%の伸びとなっている。酸化アルミニウムの生産量は 994 万トン、伸長率は 52.7%である。

主要な非鉄金属製品の輸入は前月からやや下降。4月度、非鋳物銅及び銅材の輸入は43.6万トンで、同期比9.1%増となっている。酸化アルミニウムの輸入が大幅に減少し、当月の輸入は15万トンに留まって、同期比で76.6%減、前月から70.6%減少し、2001年以降最も低い数値となっている。1-4月、非鋳物銅及び銅材の輸入は151万トン、酸化アルミニウムの輸入は175万トンで、同期比でそれぞれ12.7%と4.4%の伸びとなっている。また輸入高はそれぞれ112億米ドルと5.9億米ドルに達し、輸入価格も同期比で84.9%、41.6%上がっている。



主要な非鉄金属製品価格は総じて動きが激しく下向き傾向。4月度の中国国内市場での銅の月度平均現物価格は60509元/トンに達し、アルミニウムの平均現物価格は16122元/トンとなった。先物価格は当初上がって後に下落している。上海市場3ヶ月の銅価格は4月6日に63370元/トンの年最高値を記録し、月後半に立て続けにゴールドマン・サックス詐欺門事件と欧州債務危機の影響を受けて価格は急速に下落、4月30日の時点で上海市場の銅、アルミ、亜鉛の3ヶ月先物価格はそれぞれ58740元/トン、16360元/トン、18555元/トンとなり、前月末から2890元、340元、420元下落している。



化学工業: 当月の生産付加価値は同期比で17.3%増となり、前月からは0.8ポイント減退している。苛性ソーダ、炭酸ソーダ、エチレンの伸長率はそれぞれ22.1%、3.5%、26.1%で、農業、化学

肥料はそれぞれ 17.2%と 1.6%の増加となっている。1-4 月では、化学工業業界の生産付加価値は 21.4%増で、同期比で 15.3 ポイント上昇。生産量では苛性ソーダが 673 万トン、炭酸ソーダが 692 万トン、エチレンが 391 万トンで、同期比でそれぞれ 22.4%、19%、19.6%増えている。また化学肥料、農薬の生産量はそれぞれ 2222 万トンと 86.2 万トンで伸長率は 8.7%と 20.1%となっている。



化学工業市場は引き続き全体が上向き傾向。4 月度、中国化工網がモニタリングする 68 種の化学工業製品のうち、価格の上向きが 33 種、下向きが 23 種、12 種の製品の価格が横ばいとなっている。国による化学肥料輸出規制の影響を受け、化学肥料市場が需要過多となり、春耕の時期の「繁忙期にふるわず」、硫黄、硫酸アンモニウムの価格がそれぞれ 18.2%と 8.3%下落している。

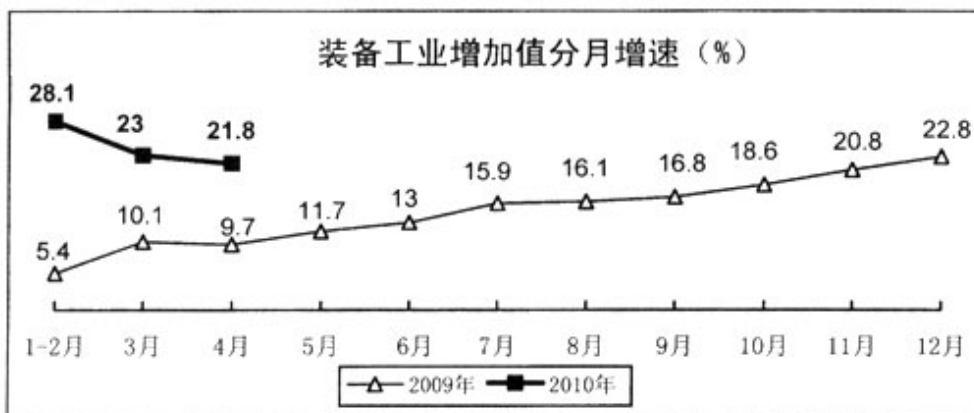
主要な化学工業原料価格が大きく高騰。1-4 月、初期形状プラスチックの輸入は 822 万トン、ABS 樹脂が 67.8 万トンとなり、同期比で 13.6%、6.3%の増加となっている。輸入金額はそれぞれ 143 億米ドル、12.5 億米ドルで、59.3%と 35.8%での増加で、輸入価格の上げ幅は同期比で 40.2%と 27.8%になっている。輸入では天然ゴムが 63 万トン、合成ゴムが 59 万トン、同期比で 13.1%、60.3%の増加となっている。また輸入金額ではそれぞれ 17.3 億米ドルと 14.6 億米ドルで、同期比の増加は 1.2 倍と 1.1 倍となり、輸入価格の伸長率はそれぞれ同期比で 94.4%と 33.1%になっている。

(関連統計データについて、注記していないもののうち輸出入関連データは税関の統計データ、その他は国家統計局のデータもしくは国家統計局のデータによる推算である。)

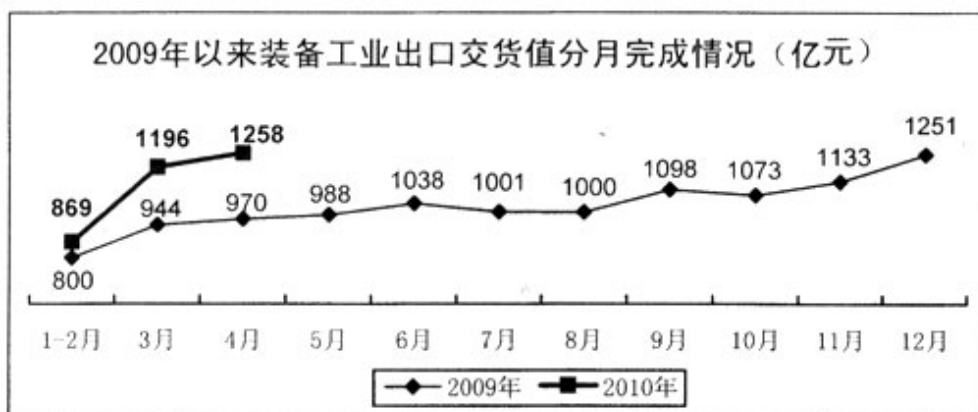
2010 年 1-4 月期の工業経済運営状況の二: 装置工業

4 月度、装備工業の生産付加価値は 21.8%増となり、前月からは 1.2 ポイント下がっているが、同期比では 12.1 ポイントアップである。1-4 月では、装置工業の生産付加価値は 25.3%増となっており、そのうち交通・運輸の設備製造業での伸長率が 33.9%で、装置工業の伸長率に対する貢献度は 51.3%に達している。汎用設備、特殊設備製造業の伸長率はそれぞれ 22.8%と 19.8%で、

同期比で 16.4 ポイントと 8 ポイント上昇している。計測器及び文化・オフィス設備製造業は急速な回復をみせ、生産付加価値は昨年同期の 2.3%ダウンから転じて 16.7%アップとなっている。



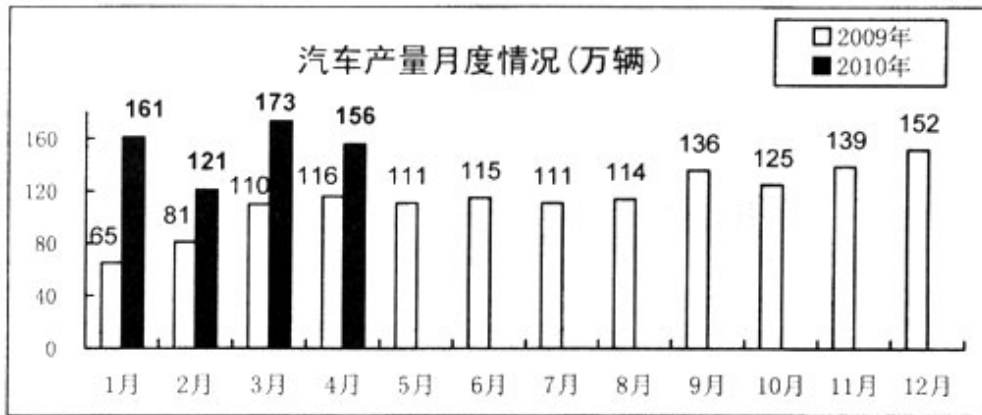
輸出は徐々に 2008 年同期のレベルに回復。1-4 月、装置産業の輸出取引高は同期比で 25.6%増となり、2008 年度同期と比べると 4.9%増えている。そのうち 4 月度の伸長率は 30.9%で、前月からは 2.9 ポイントアップとなっている。また税関当局の統計によれば、1-4 月での機械電気産業の輸出は 2603 億米ドル、同期比で 31.3%増となっている。



投資系製品の生産は高い伸長率を維持。4 月度のクレーン、ショベル、ローダーの生産量はそれぞれ 22%、47.6%、42.5%の増加となっており、セメント、精油及び化学工業特殊設備の生産量では 71.1%と 104.1%の増加、金切り盤、成形機では 31.1%、47.1%の増加となっている。

自動車生産販売量は依然好調をキープ。中国自動車工業協会の統計によると、4 月度の全国の自動車生産、販売台数は共に 156 万台に達し、それぞれ同期比で 34.6%増と 34.4%増になっている。1-4 月では、自動車生産、販売の累計台数が 612 万台と 617 万台を達成し、同期比で 63.8%増と 60.5%増になっている。1.6リットル以下の乗用車販売台数の伸びは全業界のレベルを下回っているが、4 月度の 1.6リットル以下の乗用車の販売台数は 73.7 万台で、同期比 24%

増、乗用車総販売台数で占める割合は67%となり、3月度からは2个百分点のダウンである。輸出はやや回復したもののまだ低調である。税関当局の統計によれば、4月度の自動車輸出は40868台、前月に比べ2217台増え、同期比62.1%増となっている。但し単月での過去最高値(2007年12月)と比べるとまだ45.5%低い。



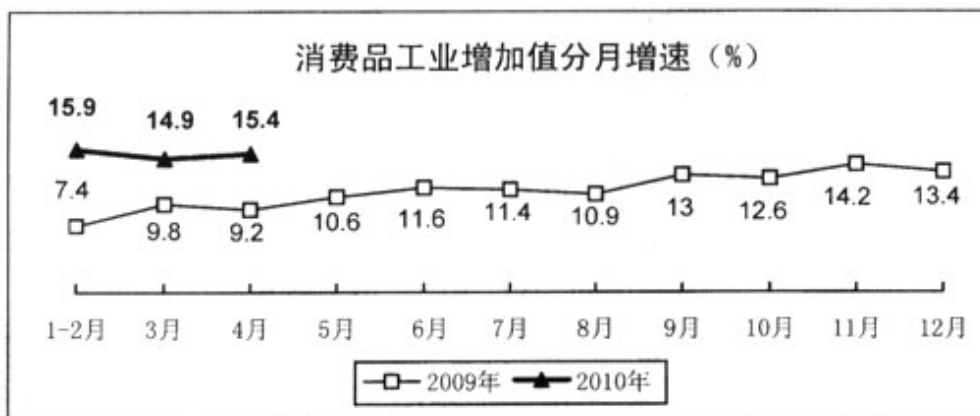
船舶工業の生産は増加を維持。新規船舶受注にやや改善。1-4月、全国の造船竣工量は1860万載貨トンで、同期比で94.9%増となっている。新規船舶受注量は1277万載貨トンで、昨年同期からの伸びは12倍となり、4月末までで竣工前の既存船舶受注量は18458万載貨トン、2009年末と比べると既存船舶受注量では1.9%下降している。全国の造船竣工量、新規受注量、既存受注量の世界市場におけるシェアは39.1%、47.2%、37.8%となっている。

農業用機械の生産量はやや下降。4月度の大、中型のトラクターの生産量は同期比でそれぞれ44.6%減と14.7%減になっている。小型トラクターは同期比で10.3%増である。農作物収穫用機械は17.2%減少し、そのうち農業用コンバインが40.9%下がっており、農地作業用機械の生産量は昨年同期のレベルを維持している。その他、4月30日までで全国の各省(区、市)において中央の補助金40.5億元が実施されており、補助金による農機具は77.7万台(セット)、恩恵を受けた農家は67万户となっている。動力機械、収穫用機械、及び耕耘機械等の農業機械の需要規模は大きく、補助金の使用は25.9億元に達し、補助金全体の64%を占めている。

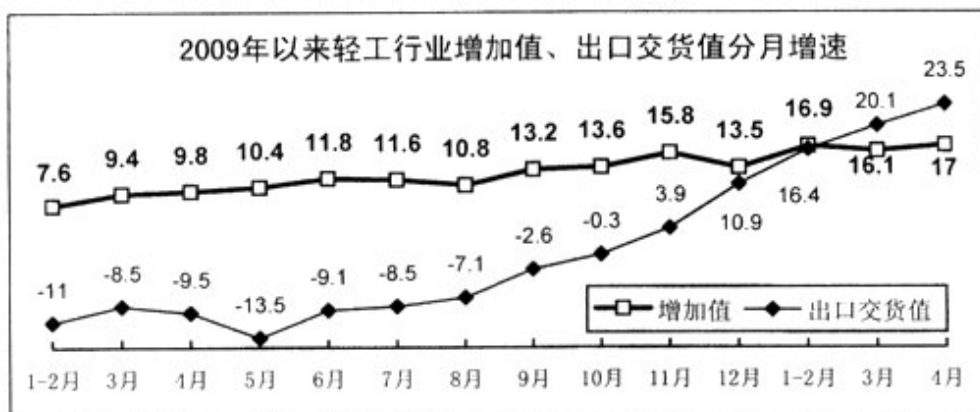
(関連統計データについて、注記していないもののうち輸出入関連データは税関の統計データ、その他は国家統計局のデータもしくは国家統計局のデータによる推算である。)

2010年1-4月期工業経済運営状況の三:消費材工業

4月度の消費材工業の生産付加価値は15.4%増、輸出取引高は22%増となり、それぞれ前月から0.5ポイントと3.8ポイント増えている。1-4月では、消費材工業の生産付加価値は15.5%増、同期比で7.5ポイント上昇、輸出取引高は同期比で19.4%増、2008年同期比で7.9%増となっている。



軽工業: 当月の生産付加価値は同期比で17%増、前月からは0.9ポイント増えている。輸出取引高は同期比で23.5%増と、穏やかながら回復傾向を保っている。1-4月では軽工業業界の生産付加価値は16.6%増、同期比で8.5ポイント増えている。輸出取引高の同期比は20.8%増で、2008年同期比では7.6%増である。

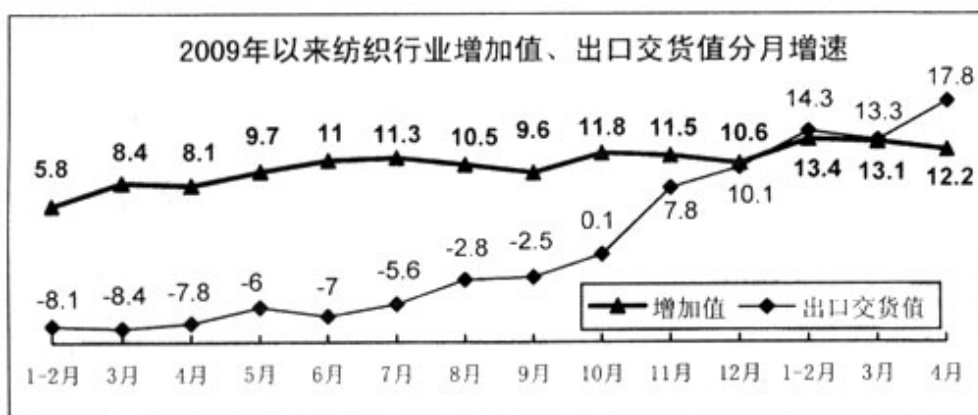


食品生産は安定的な増加を維持。 当月の農業副食品加工、食品製造及び飲料製造業界の生産付加価値は、同期比でそれぞれ15.2%、17.4%、15.7%の伸長となっている。主要な製品のなかでは、小麦粉が17.9%増、精製食用植物油が9.2%増、肉類が42.1%増、乳製品が16.4%増、食用酒及びソフト飲料がそれぞれ9.7%と23.3%増えている。

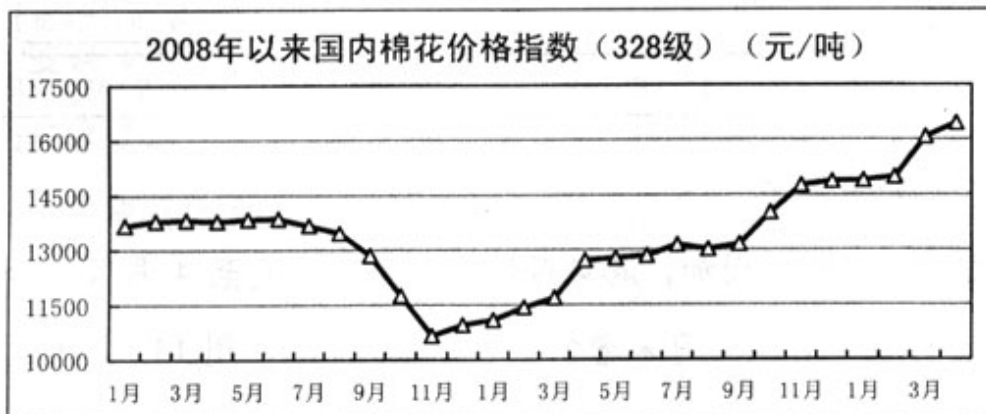
家電製品の生産・販売は引き続き増加。 重点モニタリングを行う12種の家庭用電気製品のなかで、当月10種の製品の伸長率が20%を超え、冷蔵庫、エアコン、洗濯機でそれぞれ29.7%増、27.5%増、34.4%増となっている。1-4月では、家庭用冷蔵庫、エアコン、洗濯機の生産量は同期比で28.5%増、30%増、39.7%増となっている。商務部の統計によれば、4月度で、「家電下郷(家電を農村へ)」政策での製品販売が480万台、販売額にして100億元を実現し、それぞれ同期比で1.7倍と2.6倍増になっている。「家電以旧換新(家電の買い替え)」

政策の効果も顕著で、4月25日まででその新規家電販売額は400億元を突破し、販売台数も1031万台となっている。

紡績: 当月の生産付加価値は同期比で12.2%増、前月からは0.9ポイント下がっている。輸出取引高では17.8%増、前月からは4.5ポイント増えている。主な製品のなかでは紡績糸、布、服飾の生産量は同期比でそれぞれ16.6%増、17.9%増、16.1%増、化学繊維が13.9%増となっている。1-4月では、紡績業界の生産付加価値は13.1%増、同期比では6.5ポイント増えている。輸出取引高は同期比で14.8%増、2008年同期比で5.2%増となっている。主な製品のなかでは紡績糸、布、服飾の生産量が同期比でそれぞれ18.7%増、17.8%増、9.5%増となり、化学繊維が18.6%増である。



国内の綿花価格はなおも上り傾向を維持。4月度、国内綿花価格指数(328級)の価格は16456元/トンで、前月から373元/トン上がり、同期比では29.4%上昇している。ポリエステルチップ、テリレン短繊維、テリレンフィラメントの価格は回復し、前月末からそれぞれ300元/トン、220元/トン、600元/トン上がっている。銭清繊維市場の純木綿糸の価格は前月末から横ばいである。1-4月では輸入綿花が117万トン、同期からの上げ幅は1.82倍、輸入平均価格は1730米ドル/トンで、同期比で34%上昇している。



医薬: 当月の生産付加価値は 13.7%増、前月からは 0.9 ポイント上がっている。1-4 月では医薬業界の生産付加価値は 15.4%増、同期比で 1.6 ポイント増えている。主な製品のなかでは、化学薬品原薬の生産量が 70.3 万トン、同期比 12.7%増で、漢方製剤が 65.5 万トン、21.3%増となっている。

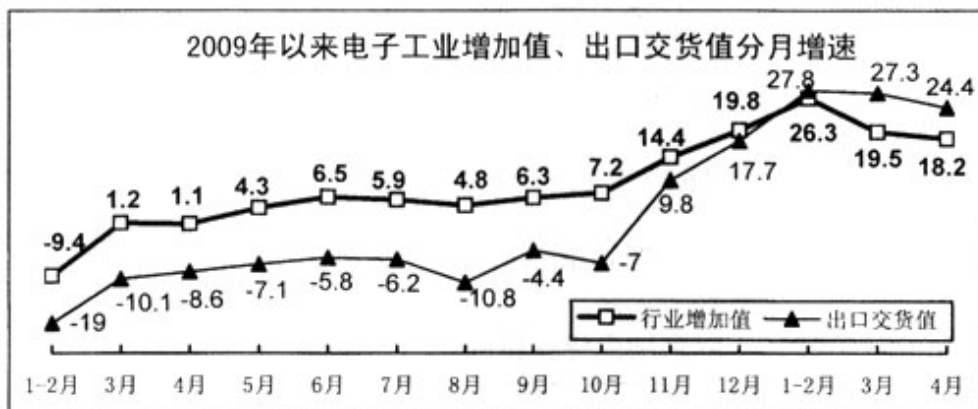
タバコ: 当月の生産付加価値は 13.8%増、前月から 1.6 ポイント上がっている。1-4 月ではタバコ業界の生産付加価値は 14.3%増、同期比で 8.2 ポイント増えている。巻タバコの生産は 8473 億本、3.7%増である。

(関連統計データについて、注記していないもののうち輸出入関連データは税関の統計データ、その他は国家統計局のデータもしくは国家統計局のデータによる推算である。)

2010 年 1-4 月期工業経済運営状況の四: 電子製造業

4 月度、電子製造業の生産付加価値は同期比で 18.2%増、前月からは 1.3 ポイント下がっている。1-4 月では電子業界の生産付加価値は同期比で 21.7%増となっている。主な製品のなかでは、小型コンピュータ用設備の生産量が 50.1%増。このうちノートブック PC が 50.6%増となっている。その他生産量では携帯電話が 34.5%増、集積回路 78.7%増、カラーテレビが 21.5%増で、テレビの中では液晶テレビが 45.2%増である。

輸出取引高は拡大し続けており、4 月度の電子製造業の輸出取引高は 2678 億元、同期比で 24.4%増、前月からも 5.7%増えている。主要な製品のなかでは、集積回路の輸出が同期比で 64.4%増、カラーテレビが 54.6%増、自動データ処理装置が同期比 36.6%増となっている。



(関連統計データについて、注記していないもののうち輸出入関連データは税関の統計データ、その他は国家統計局のデータもしくは国家統計局のデータによる推算である。)

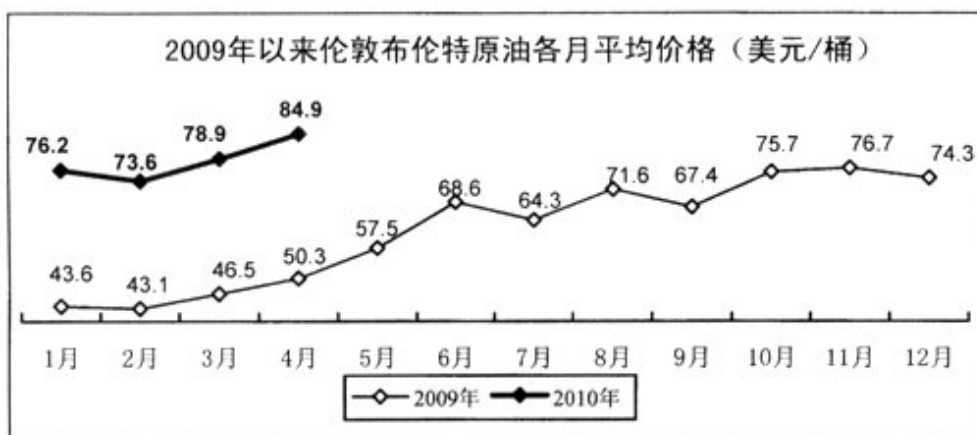
2010年1-4月期工業経済運営状況の五: エネルギー保障

石炭: 発電所の貯炭が増加し、港口の貯炭は引き続き反落している。4月末までで全国統合・調整での発電所貯炭量は4441万トン、前月末から136万トン増え、のべ13日の使用分となっている。5月3日の時点で、秦皇島港口の石炭在庫は465万トン、4月6日と比べ320万トン減っており、石炭閑散期と大秦線の点検修理の影響を受け、既に6週連続で落ち込んでいる。石炭の価格は小幅に上昇しており、4月末で、秦皇島で5500キロカロリーー山西産優良炭の価格が725元/トン、前月より45元/トン上がっている。

電力: 4月度、規模以上の工業企業の発電量は3316億キロワット時で、同期比21.4%増、そのうち火力発電が25.6%増、水力発電が1.1%減で、下げ幅は前月よりやや縮小されている。1-4月では全国発電は12842億キロワット時で、同期比21.5%増となっている。

石油: 石油の供給は十分といえる。4月度の原油生産量は同期比で4.2%増、輸入量は30.9%増、原油加工量は17.1%増となっており、そのうちガソリン生産量が5.5%増、ディーゼル油の生産量が18.8%増である。1-4月では原油生産量が6445万トンで同期比4.3%増、輸入が7785万トンで同期比36.7%増、原油加工量が13482万トンで同期比20.7%増となっている。

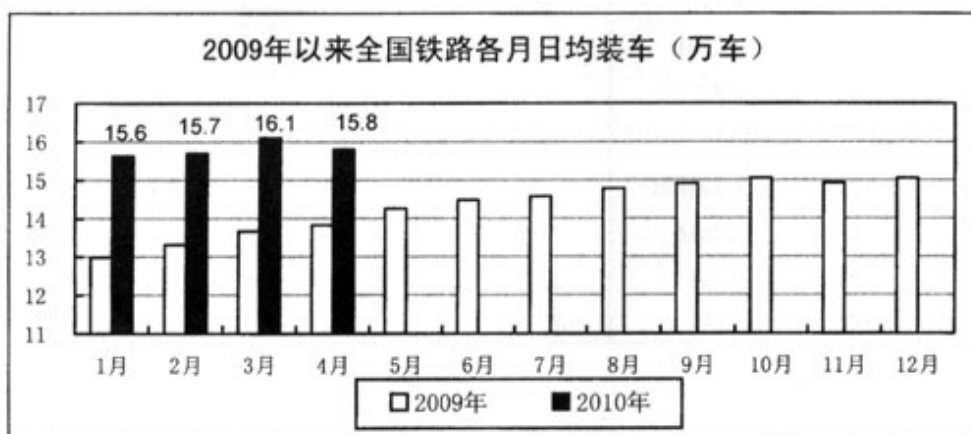
世界的なオイル価格は引き続き上昇傾向。 4月度のブレント原油スポット(現物)取引の月度平均価格は84.9米ドル/バレルで、前月から6米ドル/バレル上昇している。ロンドン市場でのブレント原油スポット(現物)取引価格は最初上がって後から下がり、4月29日の時点で86.9米ドル/バレルに落ち着いている。



(関連統計データについて、注記していないものうち輸出入関連データは税関の統計データ、その他は国家統計局のデータもしくは国家統計局のデータによる推算である。)

2010年1-4月期工業経済運営状況の六: 交通運輸情况

鉄道: 鉄道部の統計によれば、4月度の全国の鉄道1日当たりの積載車両は15.8万車両で同期比13.3%増、貨物配送量は2.98億トンで同期比14.1%増となり、そのうち石炭輸送量は13.9%増となっている。1-4月では、1日の平均積載車両は15.7万車両で同期比15.1%増、貨物配送量は11.87億トンである。このうち石炭輸送量は6.5億トン、同期比でそれぞれ16.2%と18.9%の増加である。



水運: 交通部の統計によれば、4月度の規模以上の港口企業の貨物スループットは同期比12.8%増となり、そのうち対外貿易貨物のスループットが2.1億トンで17.1%増、コンテナのスループットが1163万TEUで21.3%増となっている。1-4月では規模以上の港口企業の貨物スループットが24.8億トン、同期比20.2%増となり、その中で、対外貿易の貨物スループットが8.1億トンで27.2%増、コンテナのスループットが4368万TEUで22.4%増となっている。

(関連統計データについて、注記していないもののうち輸出入関連データは税関の統計データ、その他は国家統計局のデータもしくは国家統計局のデータによる推算である。)

2. 工業生産付加価値

2010年1-3月細分業界別生産付加価値の実績

単位: 億元

業界	比去年同期増減%	
	当月	累計
合計	18.1	19.6
石炭	25.2	24.0
冶金	19.4	20.7

非鉄金属	20.7	23.7
石化	13.3	16.0
石油化工	5.7	6.0
化学工業	18.1	23.1
建築材料	20.4	21.5
軽工業	16.1	16.4
食品加工	16.3	16.1
食品製造	16.7	16.6
飲料	16.1	15.4
製紙&紙製品	20.9	21.8
プラスチック製品	17.0	18.9
タバコ	12.2	14.2
医薬	12.8	15.5
紡織	13.1	13.4
紡織業	11.4	12.5
アパレル	15.6	13.4
化学繊維	16.4	19.7
機械	23.0	25.7
装置設備	22.3	22.3
専用設備	19.6	19.2
輸送設備	30.1	37.2
電気機械	14.8	17.3
オフィス関連機械	14.1	16.1
エレクトロン	19.5	24.1
電力	13.2	15.8

3. 輸出取引高

2010年1-3月細分業界別輸出取引高の実績

単位: 億元

行业	当月	累計	比去年同期増長%	
			当月	累計
合計	6743	18099	25.7	25.2
石炭	4.0	11.0	-39.5	-29.4
冶金	162.0	401.8	73.5	36.8
非鉄金属	82.6	213.5	75.0	77.6

石化	352.8	902.7	37.7	32.3
石油化学	55.0	131.3	94.2	50.3
化学工業	297.8	771.4	30.7	29.6
建築材料	124.7	325.1	20.4	17.3
セメント	2.4	7.2	-1.0	15.8
ガラス	46.0	114.0	45.6	37.9
軽工業	1470.1	3896.4	20.1	19.0
食品加工	151.5	389.1	15.8	22.3
食品製造	61.2	154.9	36.4	29.8
飲料	15.4	35.5	8.0	2.5
製紙	38.5	114.3	25.5	33.8
プラスチック	154.9	436.2	21.4	22.9
家電	212.4	529.9	28.7	15.2
タバコ	4.3	5.7	26.5	27.8
医薬	101.7	279.6	20.7	29.1
紡織	599.6	1639.5	13.3	14.0
紡織業	314.2	842.0	14.7	16.6
アパレル	263.9	733.0	12.4	9.8
化学繊維	21.5	64.5	4.3	32.0
機械	1196.3	3148.9	28.0	24.1
装置設備	249.4	648.5	18.2	10.7
専用設備	161.9	399.8	34.4	23.4
輸送設備	457.1	1229.3	26.2	26.0
車	140.3	383.4	52.3	45.6
電気機械	590.7	1553.9	28.9	26.2
オフィス関連機械	170.9	459.8	20.8	23.3
エレクトロン	2533.9	6970.6	27.3	30.2
通信設備	358.3	1003.3	5.8	2.4
レーダー	2.7	7.1	3.3	21.3
放送設備	13.3	39.9	38.0	62.7
PC	1134.5	3119.9	30.2	32.0
電子デバイス	809.8	2225.0	33.2	41.8
家庭用オーディオ	162.9	441.1	27.9	39.6
電力	4.8	12.8	46.7	38.0

4. 主要製品の生産量

2010年3月主要工業製品の生産と交通輸送状況

業界	製品	単位	当月	累計	去年同期比伸び率%	
					当月	累計
石炭	原炭	万吨	27981	75143	23.8	28.1
鉄鋼	粗鋼	万吨	5497	15801	22.5	24.5
	鋼材	万吨	6824	18575	28.1	28.6
	生鉄	万吨	5216	15011	19.6	21.7
	コークス	万吨	3183	9246	23.7	25.0
	合金	万吨	205	552	28.1	37.6
有色	十種非鉄金属	万吨	258	743	28.8	36.0
	内:アルミ(電解アルミ)	万吨	136.4	399	50.2	48.3
石化	原油	万吨	1692	4819	6.9	4.6
	天然ガス	億立方米	83.4	242	16.2	13.8
	原油加工量	万吨	3456	10030	17.7	21.6
	ガソリン	万吨	630	1828	0.9	7.7
	ディーゼル	万吨	1263	3702	16.7	22.1
	純アルカリ	万吨	181	525	16.0	24.7
	化学肥料	万吨	610	1631	1.3	11.2
	そのうち:窒素肥料	万吨	433	1204	-0.1	8.7
	磷酸肥料	万吨	145	375	4.7	17.4
	農薬	万吨	22.7	58.2	0.9	16.6
建築材料	セメント	万吨	13599	33585	12.1	20.3
	そのうち:重点企業	万吨	4834	13066	0.8	11.8
	板ガラス	万換算箱	5390	15344	10.8	13.7
	そのうち:重点企業	万換算箱	2738	8249	14.2	14.6
機械	車	万台	174.8	458.9	51.5	73.2
	そのうち:乗用車	万台	89.7	237.1	66.7	79.3
	大型トラクター	台	1277.4	27969	-0.6	24.3
	中型トラクター	台	38203	94404	21.1	42.8
	小型トラクター	万台	22.4	53.1	-1.3	20.1
	エンジン	万千瓦	11699	30842	56.3	80.0

	工作機械	万台	5.2	14.2	18.2	23.5
	そのうち:デジタル制御型	万台	1.4	3.8	75.0	58.3
	セメント設備	トン	204913.7	341000.3	203.4	116.5
	金属製錬設備	トン	49976	146136	-0.2	1.5
	発電設備	万キロ ワット	988	2181	8.1	6.7
	交流電動機	万キロ ワット	1798	4660	29.4	28.2

2010年3月度重点製品価格変動状況

業界	製品	単位	3月 価格	2月 価格	平均価格	伸び率(%)	
						去年3月 比	去年第1 四半期比
冶金	鋼材価格指数	ポイント	116.81	109.16	111.72	19.2	8.7
	線材(6.5mm)	元/トン	4140	3839	3937	26.6	11.3
	钢筋(即螺纹钢)(16mm)	元/トン	4165	3843	3951	23.1	9.0
	中板(10mm)	元/トン	4547	4080	4252	25.3	9.5
	热轧薄板(0.5mm)	元/トン	4676	4328	4445	10.3	1.6
	冷轧薄板(0.5mm)	元/トン	6022	5703	5811	30.5	21.0
石化	汽油(93#)	元/トン	7969	7955	7959	25.5	25.8
	柴油(0#)	元/トン	7214	7202	7205	28.3	27.5
建材	水泥(重点企业)	元/トン	293.8	292.5	292.9	1.3	0.1
	平板玻璃(重点企业)	元/換 算箱	78.2	79.8	79.3	33.5	33.9
軽工業	食糖(产区)	元/トン	5150	5450	5200	45.1	60.0
	食糖(销区)	元/トン	5400	5500	5317	45.2	54.6
紡織	棉花(328级)	元/トン	16083	14990	15324	37.6	34.3
	聚酯切片(长丝级)	元/トン	9800	9975	9908	32.4	43.1
	涤纶短纤	元/トン	10380	10600	10510	32.2	35.9
	涤纶长丝(DTY)	元/トン	12400	12550	12500	31.9	38.6
	钱清市场纯绵纱(32支)	元/トン	24500	21300	22167	45.8	33.5

注:棉花(328级)价格为中国棉花价格指数。聚酯切片(长丝级)、涤纶短纤、涤纶长丝(DTY)价格为中
纤价格指数。

5. 対外貿易輸出入

2010年3月の重点業界における輸出入の状況

行业	产品	单位	当月	累計	同比増減%
煤炭	煤炭出口(3月)	万吨	226	570	-22.7
冶金	钢材出口(3月)	万吨	333	871	69.5
	钢坯出口(3月)	万吨	0	1	480.4
	钢材进口(月)	万吨	163	411	27.3
	钢坯进口(3月)	万吨	8	16	-82.8
	铁矿砂进口(3月)	万吨	5901	15503	18.0
石化	原油出口(3月)	万吨	28	63	-58.5
	原油进口(3月)	万吨	2106	5668	39.0
	化肥进口(3月)	万吨	79	202	16.5
机电	出口总值(3月)	亿美元	701	1891	31.5
	进口总值(3月)	亿美元	558	1378	49.8
	汽车及汽车底盘进口	辆	85271	179284	159.1
纺织	纺织品及服装出口总值(3月)	亿美元	110	361	14.4
	其中:纺织品	亿美元	50.5	120.1	26.6
	服装	亿美元	59.6	240.4	9.1
轻工	出口总值(12月)	亿美元	293	2778	-10.2
	其中:家用电器	亿美元	28.5	313	-13.3
	鞋类	亿美元	28.2	280	-5.7
	塑料制品	亿美元	37.0	334	-5.4
	金属制品	亿美元	22.4	198	-15.6
	家具	亿美元	31.5	260	-0.6
	文体用品	亿美元	28.0	323	-18.4
	进口总值(12月)	亿美元	76.8	727	-9.2
	其中:纸浆、纸及纸制品	亿美元	10.8	110	-1.5
	塑料制品	亿美元	12.9	115.6	-3.7
	轻工机械	亿美元	3.2	27.9	-29.7

6. 工業 & 情報化データからの精選

——自動車、エネルギー、交通・物流、設備工業、消費材工業、原材料工業など。不定期に更新。

2010年4月度の主要原材料製品の価格動向(サンプル)

